

キャリア教育通信

群馬県立館林特別支援学校
令和4年7月15日
第3号
進路指導部

今回はキャリア教育の中で育成すべき4つの力から③やりぬく力について、くわしくお伝えします。（4つの力についてはキャリア教育通信第1号を参照してください。）

③課題対応能力「やりぬく力」

課題対応能力「やりぬく力」と書くと、すごく難しそうですが、やりぬくことは、**まず、教師、大人の支援を受け入れることから**始まります。

そこで考えるポイントは2つあります。

①子どもたちが受け入れやすい支援をすること

靴を履くために、「履くのを待つ」支援があれば、「片方の靴を履かせる」支援があってもいいと思います。片方を履かせることで、もう1つは自分で履こうと思ってもらえれば一歩前進です。

②できること、できるようになったことを褒めて、支援を少しずつ減らしていくこと

褒めて自信をつけて、私ならできるかもと「やる気」いっぱいな子どもたちに「靴を履いてみる？」と促し、自分で履くことができたなら、更に褒めることもでき、次回から自分から履こうとする姿が見られるかもしれません。

課題を「やりぬく」

①教師と一緒に簡単な課題に取り組む

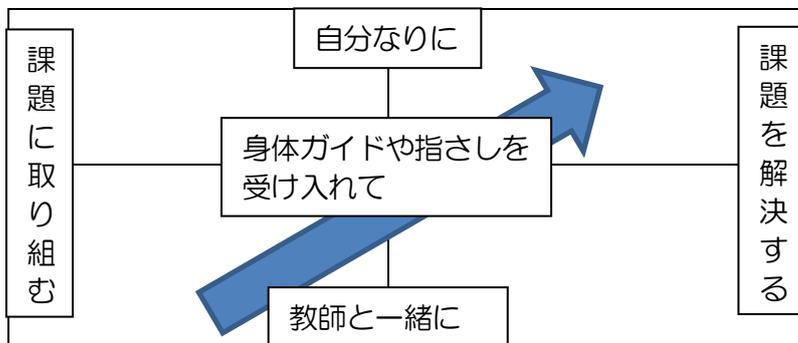
例 教師に手伝ってもらい、靴を履く。

②身体ガイドと指さしの受け入れて課題に取り組む

例 教師が指さした靴に気づき、履く。

③自分なりに試行錯誤しながら課題解決の方法を見つける

例 自分の履きやすい場所や体勢で履く。



見通しをもって「やりぬく」

①教師の支援を受けながらスケジュールを確かめ、生活する

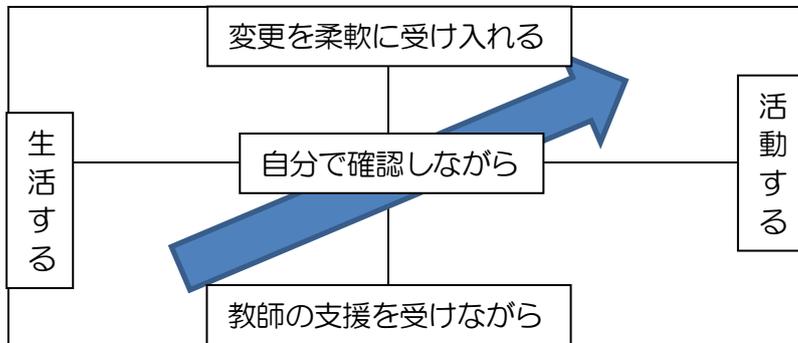
例 次の活動を教師に伝えてもらう。

②一日のスケジュールを自分で確認しながら活動する

例 自分で予定表を確認する。

③予定の変更などを柔軟に受け入れ一日のスケジュールに沿って活動する

例 予定の変更を受け入れて活動する。



学校での課題への取り組みの様子、それに対する支援などを担任と話題にいただき、学校と家庭で協力して取り組んでいくことが大切だと考えています！